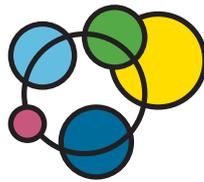


そわにえ
Soigner



第24号

「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2012年12月20日発行

発行/東京訪問看護ステーション協議会(責任者 嶋森好子)
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
株式会社プロコムインターナショナル内
TEL: 03-5520-8824 / FAX: 03-5520-8820
http://www.tokyohoukan-st.jp

INDEX/

- ぼん・くらーじゅ ① 座談会 ⑥
- 活動報告他 ② 実地指導 ⑦
- ステーション紹介 ④ 編集後記他 ⑧



東京駅丸の内駅舎のライトアップ

私の病院は茨城県中央部の笠間市にあり、東日本大震災では震度6強という災害に見舞われました。地震発生から次の日の朝までのことは、おそらく一生忘れることはないと思います。

病院としてもたくさんの影響を受けました。建物の改修は今も続いていますし、地震後に退職する職員もいました。地域にもまだまだ補修がすんでいない屋根や塀が残っています。ただ、確かに被害は数多くありましたが、この災害は訪問看護の力を再確認する機会となりました。

私が震災時に「訪問看護が頼り」と感じたことを紹介します。まず、医療機器を使用している患者さんの場合、訪問看護を利用していれば、病院にあまり助けを求めなかったようでした。震災の2、3日後、病院に支援を求めてきた療養者で多かったのは、在宅酸素療法の患者さんでした。この人たちには訪問看護が関わっていなかったために、停電対策の準備ができていなかったと考えられました。

つぎにあげられるのは安否確認です。震災後に訪ねた宮城県と同様、笠間市内でも、被災早期に訪問看護師は安否確認に歩いていました。



『災害時の訪問看護師の役割』
訪問看護師さんがんばって！

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
看護局長 がん看護専門看護師
角田直枝



ハッスル黄門と角田さん

大規模災害のとき、在宅療養者は避難所に移動することができません。そういう住民がいることを、かつては保健師が把握していたでしょうが、最近では難しいようです。つまり、避難所に行けない住民を把握できるのは訪問系サービスであり、なかでも訪問看護は生命維持が危機となる住民の情報を持っているということですから、訪問看護の役割として行政にもっとアピールしたいと感じました。

Bon Courage

ぼん・くらーじゅ

3つめは避難所でも看護が出来るということです。病院から支援にいった看護師は、体育館などで勝手が違って戸惑ったようでした。そこへいくと訪問看護師は、環境整備、感染対策、健康管理などをはじめ、物品や設備が整わなくても柔軟に対応できるでしょう。

そこで、「訪問看護を利用していれば災害にも備えられる」と、住民にも行政にも役割をPRして下さい。皆さんが、「いざというときは、住民の強い味方よ」という自負をもって、訪問看護を続けてくださることを、心から応援しています。

活動報告



災害プロジェクト

協議会の絆をめざして

平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、多くの問題が起きました。協議会では、東日本大震災によって東京の訪問看護ステーションに起きた問題を把握するためにアンケートを行いました。アンケート結果をもとに、何を整備すべきか検討するために、阿部副会長の声かけから仲間が集まり、災害プロジェクトの活動が始まりました。

プロジェクトでは「東京地域版 災害時対応マニュアル」作成のために、過去の災害体験や対応をもとに話し合いました。そして、「災害直後は、安否確認」「自分の身を守ることが大事」「自己判断で動くことは危険」「支援する側と受ける側の連携や体制づくりが必要」などの意見から、第一段階として「安否確認マニュアル」を作りました。

次に、平成24年9月15日「安否確認マニュアル」の説明会を行い、51カ所のステーションに参加していただきました。10月～11月にマニュアル試用を行い、評価した内容をもとに修正しました。平成25年1月からは、第2段階として災害プロジェクトメンバーによる「広域での支援活動訓練、安否確認訓練」を行う予定です。

今後、私たちが拠点としている東京は、大震災の可能性が

予測されると言われています。しかし、残念なことに東京都の災害対策に訪問看護の活動が組み込まれていない、訪問看護ステーションによっては災害対策を行っているところと行っていないところがあり、足並みが揃っていないのが現状です。今後、協議会としての災害支援の連携づくりや支援活動を行ううえで、訪問看護ステーション同士が共に助け合えるように共通のツールとしてマニュアルを活用していきたいと考えております。

平成25年東京訪問看護ステーション協議会総会で、活動報告を行う予定です。1人でも多くの会員の皆様に、参加していただき、協議会の絆を結束して、災害時の対応にあたりたいと考えております。ご協力をお願いいたします。

(田園調布医師会立訪問看護ステーション 田中千賀子)



会議の様子



黒一点?として活躍中の江頭くん



研修委員会

より有意義な研修を求めて

研修委員会は、7名のメンバーで東京訪問看護ステーション協議会の会員の皆様のお役に立つような研修が提供できるように、年間計画を立てています。

今年度は、昨年3月11日の震災により起こった様々な問題を考え、また、東京訪問看護ステーション協議会でも災害時のマニュアル作成に取り組み始めたところから、9月15日に『災害時の訪問看護を考える』というテーマで、茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンターの看護局長でいらっしゃる角田直枝先生による講演を企画し、100名の方が参加され大盛況のうちに終了しました。災害に関心を寄せている方々が多いという印象を改めて感じ、やはり今年のテーマとして適正だったと感じました。

もう一つの研修として、1日体験研修を11月12日から16日までの期間で企画しました。こちらの研修は7年間の実績があり、今年度の参加者を加える



研修風景

と、これまで既に約1,000名の方が参加されています。この研修の成果として、地域と病院との連携がより一層円滑になったと思います。また、個人で1日体験研修に参加された方の中には、研修先のステーションの温かさや、1件1件の訪問を大事にする姿に感動し、そのステーションに就職をされた方もいたと伺っています。

この他にも様々な活動に協力しています。

研修委員のメンバーは、皆さん看護師のキャリアは勿論のこと、訪問看護のキャリアも素晴らしい方々です。何よりも訪問看護への熱意に溢れ、訪問看護を愛してやまないのです。研修委員会の会議は概ね月に一回行われ、一回の会議にはだいたい2時間を予定していますが、時間通りには終わりませ

ん。研修委員会の話し合いが終わり次第、訪問看護への熱き思いを語り合います。語り合いは尽きることなく続きます。また、楽しい話、頑張った話、困った話、理不尽な話などなど、日々の悩みを話し合い相談し合います。その話し合いの後にはさわやかな風が吹き、明日からまた頑張ろうと思えるようになります。

(ナースステーションもも 寺井利恵子)



訪問看護推進委員会

訪問看護推進委員会ってこんな事しています(^^)

今年はやっと会員の皆さまに「直接役に立てるかもしれない!？」企画を致しました。10月から開始した「訪問看護就活研修」です。一度育児等で病院を離れた看護師が、復帰や再就職を考える時に「訪問看護ってどうなんだろう?」「でも……一人で行くって心配だし、休んだら迷惑掛けるだろうし……」などなど、様々な思いが「訪問看護ステーション」への再就職の壁になっていると考え、「だったら一度来てみて、実際に体験してみたら良いんじゃない?」と言うことで始まった企画です。

まだ、実績はありませんが、この企画を実践され「訪問看護ステーション」へ



10月の委員会終了時

の再就職の道になれば良いと考えています!成功したときには、東京都に予算をお願いしていきたいとも考えています。求人をして簡単には人は来ないし、ステーションでもそんなにお金はかけられないという厳しい現状……。日々同じような悩みを持つ私たちが、力を合わせて仲間を増やすきっかけを作ることができたなら、「また明日も、私たちを待っていてくれる人達のに元気に働ける!」ってもんですよね。

訪問看護推進委員会は「基本なんでも屋」と言われています。理事も委員も、皆同じ会員です。「こんなことかな?」「〇〇なこととして欲しい」等意見がありましたら、ぜひお聞かせください。そして、「理事や委員をやりたい!」という方もぜひお声をかけてください!「東京都内のステーションみんなで!」力を合わせて行きましょう!

(ナースステーション東京目黒支店 広川直美)



広報委員会

楽しい紙面作りに努めています

広報委員は、現在7名で年に2回の“そわにえ”(本紙)を作成し発行しています。委員のメンバーは、都内各地の訪問看護ステーションの管理者です。“そわにえ”の発行は今年で8年目で、最初から参加しているメンバーも1名います。紙面の編集や印刷は、伊豆アート印刷の山田さんをお願いしているのですが、委員会にも必ず参加してくれていて、大変



11月の委員会後

力強い存在です。

各委員は都内各地から来ているので、今年度はそれぞれのステーションで委員会をしようということになり、各ステーションめぐりをしています。11月の委員会は、武蔵村山にある“えのき訪問看護ステーション”で行いました。毎回、チョットした遠足(?)気分です。

委員全員が管理者なので、忙しい日々の中で集まって委員会を開催するのは大変なことですが、“そわにえ”の中身を考えながらの意見交換は結構楽しく、タメになります。

(なごみ訪問看護ステーション 葉山香里)



勇美記念財団研究助成金を受けて

勇美記念財団研究助成の「大規模訪問看護ステーションが小規模訪問看護ステーションを補完するネットワークの構築」の研究に取り組んでいます。来年の2月に中間報告、8月までにまとめて提出することになります。ちなみに助成金は100万円です。

東京訪問看護ステーション協議会の研修委員の方々に協力をお願いして、大規模訪問看護ステーションが小規模訪問看護ステーションを補完できるものは何かということをお話ししました。真っ先に思いついたのが「教育」です。しかも「教育」はどのステーションにとっても永遠の共通課題でもあります。その「教育」を通して、訪問看護ステーション同士のネットワークができるものはないかと考えました。

平成20年から3年間、東京都の委託を受けて東京訪問看護ステーション協議会で管理者支援研修を行い、延べ286名の参加がありました。講義やグループワーク等が中心で、実践的研修ではありませんでした。しかし、参加者からは、管

理者は孤独であり、管理者同士の横のつながりが持て有意義であったという意見が多く寄せられました。そこで、管理者支援研修を受けた研修生を対象にアンケートを行い、その後の検証を行うとともに、フォーアアップ研修として、より実践的な研修プログラムを作成し、訪問看護ステーションの管理者同士の社会的ネットワーク構築を行うことにしました。

月1~2回集まり、研修委員の方と一緒にアンケートの作成やこんなことできたらいいなあと意見交換、情報収集など楽しく、有意義な時間を過ごしております。

現在、管理者支援研修を受講した管理者にアンケートを送って回収している最中です。ご協力いただいた方々ありがとうございます。今後、アンケート結果を踏まえて、実践的な研修プログラムを作成して実施していく予定です。「他の管理者はどうやっているんだろう?」「困った時に相談できる仲間がほしい」などの管理者の悩みに応え、スキルアップに役立つような研修プログラムを目指して取り組んでおります。来年の2月に中間報告なので、スピードアップして研究を進めていきたいと思っています。

(田園調布医師会立訪問看護ステーション 宮近郁子)

えのき訪問看護ステーション

訪 問 看 護

ダ ー ツ の

こんにちは、えのき訪問看護ステーションです。この度は「ダーツの旅」にご指名いただきましてありがとうございます。今回、武蔵村山市からのダーツの旅は初めてのことですので、まずは武蔵村山市の紹介を少しさせていただきます。

東京都武蔵村山市は多摩地域北部にあり、武蔵野台地の西側に位置しています。狭山丘陵を挟んだお隣は、埼玉県所沢市です。狭山丘陵には、その自然をそのまま生かした都立野山北・六道山公園があり、ハイキングコースやサイクリングロードなど自然を満喫できる場所です。

このような自然豊かな場所にある当ステーションは 社会医療法人財団大和会の二つ目の訪問看護ステーションとして、2005年6月、併設の武蔵村山病院と同時に開設しました。当法人は武蔵村山市の東に隣接する東大和市に本部を置き、東大和病院（急性期病院）をはじめとする老人保健施設や在宅サポートセンター（訪問診療・居宅事業所・ヘルパーステーション・訪問看護・包括支援センター）があり、急性期から在宅まで、地域に密着した医療・看護・福祉を提供させていただいています。

当ステーションの訪問地域は、武蔵村山市全域、東大和市・立川市・昭島市・瑞穂町の一部です。H23年度の平均利用者数は86名/月、平均訪問件数は、490件/月。疾患別新規依頼では1位：悪性腫瘍、2位：脳・心疾患、3位：褥瘡となっています。同法人との連携が一番多く6割程度ですが、近隣の訪問診療を始めとする地域の医療機関とも積極的に連携をとっています。開設時はわずか3人からはじまりましたが、現在看護師5名・理学療法士2名・作業療法士1名・事務1名の計9名のスタッフが従事しています。いつも狭い事務所の中、スタッフの笑い声がたえないステーションです。常にスタッフみんなが元気で明るい雰囲気づくりをしてくれるので、コミュニケーションが活発に行われ、スタッフ間の連携も大変取りやすい環境です。毎朝行っているカンファレンスや昼食を摂りながらの井戸端のカンファレンスなど、顔を会わせたらすぐにそれぞれが情報交換をすることが習慣になっています。

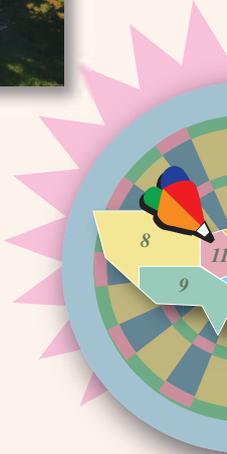
このように明るくて、自立したスタッフに支えられたステーションは、大和会看護部の理念である「その人らしさを支える看護」をモットーに、一人ひとりに寄り添った、その人らしい健康を支える援助をこれからも提供していきたいと思っています。



東京百景にも選ばれている多摩湖



リニールオープンした市内の温泉です！



訪 問 看 護 中 に 訪 問 する 季節 感 を 感じ ます。



武蔵村山のシンボルツリー



スタッフ一同

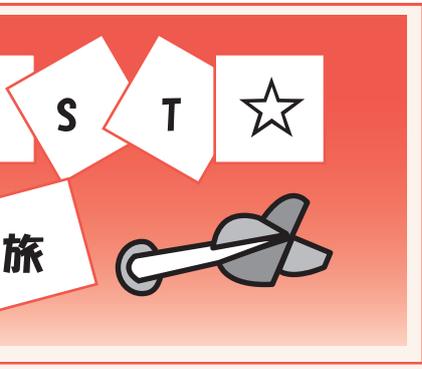
社会医療法人財団 大和会
えのき訪問看護ステーション

所長 龍原 美賀

〒208-0022 東京都武蔵村山市榎1-1-5
TEL 042-566-3575 FAX 042-566-3547

e-mail : enok-st@yamatokai.or.jp

http://www.yamatokai.or.jp/supportcenter/service/nurse/mm.html



vol.30

中央区 訪問看護ステーションあかし

はじめまして!! 訪問看護ステーションあかしは、中央区医師会のステーションとして1998年4月に開設しました。当初は月島に拠点があり「月島訪問看護ステーション」でしたが、移転に伴い名称を「中央区医師会訪問看護ステーションあかし」として現在に至ります。

中央区は華やかな銀座から下町情緒あふれる佃や月島などの地域があり、訪問には電動自転車を使用しています。訪問看護の利用者数は約180名、1カ月の延べ件数は1,000件ほどです。

スタッフは看護師15名(うち2名はケアマネジャー兼任で常勤が8名、非常勤7名)、事務1名の15名体制で働いています。今年度は5名の訪問看護未経験の看護師が仲間に加わりました。ベテラン訪問看護師の経験や技術と、新人看護師ならではの新鮮な考えや新たな視点での関わりが、当ステーションの看護力を底上げし、パワーアップしています。

当ステーションは、365日24時間体制で緊急時訪問看護を行っており、予防看護から難病や医療ニーズの高い方や、在宅での看取りまでを対応しています。在宅での看取りは毎月平均2~3件あります。ターミナル期に伴う様々な症状コントロールや家族支援、また、利用者や家族の思いに寄り添う看護を実践しています。

↓ 下へ続く

佃大橋から中央大橋を望む。手前は佃公園の桜、遠くにはスカイツリーも見えます。



教育体制：国立がん研究センター中央病院のレジデントの在宅研修や看護学生や医学生の実習も積極的に受けています。訪問看護認定看護師が2名おり、新人教育体制を強化し、スキルアップのため勉強会や症例検討会を活発に行っています。

業務改善：現在、業務の効率化・安全管理・医療連携の効率化を目指して、所内のネットワーク環境整備と業務フローの見直し・モバイル端末による情報活用をセキュリティを確保した上で構築しています。

今後……：中央区内では、訪問看護ステーション・病院・施設・保健所における看・看連携(顔の見える関係性の構築や相互理解・情報共有がスムーズになるための取り組み)を始めました。また、今後は他職種(ケアマネジャーや訪問介護等の事業所)との連携強化のための取り組みを考えていきたいと思ひます。

当ステーションは来年15周年を迎えます。今後も利用者や家族の声に耳を傾け、心と心のつながりを大切にして、その人らしい生活が営めるよう、思いに寄り添う看護を徹底していきたいと思ひます。



ステーションの外観と周辺MAP

スタッフ一同



公益社団法人
中央区医師会 訪問看護ステーションあかし
所長 加藤 希

〒104-0044 東京都中央区明石町1-6
TEL 03-5565-7281 FAX 03-5565-5101
e-mail : houkan_st_akashi@div.chuo-med.jp
http://div.chuo-med.jp/houkanST/

今回のテーマは「吸引」

ヘルパー吸引制度の
実態に迫る!!

座談会

今回の座談会は、実際に吸引事業を行っている訪問介護事業所のみどりさんをお招きして、吸引などの制度の実態にメスを入れました。

みどりさん

訪問介護事業所
常勤ヘルパー4人、
登録ヘルパー30人、
介護保険と障害の
ヘルパー派遣

けいこさん
訪問看護師

あつこさん
訪問看護師

司会者 訪問看護師
広報委員



司会者：4月からの制度改正で困ったことはどんなことがありましたか？

みどり：実地指導をお願いした訪問看護ステーションから「自分たちが指導するとその責任はどうなるんですか？だから指導はしません」と言われてしまいました。ALSの方でも困ったので、医師に頼んで指導してもらいました。

けいこ：訪問看護側では、いきなり「指導してください。○日までに書類を出さないと○さんの胃ろうできません。」という連絡があって、東京都からは何も連絡が来ていなくてすごく困ったわね。

司会者：都で行う研修は具体的にはどのような内容ですか？

みどり：訪問看護ステーションに届いたDVDと同じものを見るのがメインで、実際に練習はしなかったですよ。

けいこ：実地指導で見てもできないわけね……。

みどり：ヘルパーさんって清潔不潔の概念が全くないんです。グローブをしていれば清潔と思っている人も多いのが現状ですね。

あつこ：2回通して行えれば合格でしたね。足りない気がします……。

みどり：そうなんですよ!! うちの事業所では、何ヶ月もかけて指導してきました。初めて吸引するヘルパーには、2カ月は同行して指導しています。吸引の経験があるヘルパーでも、利用者さんによって色々違うので1カ月は同行が必要! ダブル給料ですよ。呼吸器をつけている人の体制を固めるのに半年はかかりますね。

けいこ：みどりさんの事業所のように、しっかり指導しているところばかりではないのも現実です。しっかり行っているところには、加算をつけてもらいたいですね。

みどり：吸引が必要な人には障害の重度介護でサービスを行うことが多いのですが、介護保険よりも報酬が少ないんです。だから、吸引等は行わず、介護保険のサービスだけを行う事業所が増えてきているのです。

司会者：研修に時間をかけて行ってもらっても、報酬が安いのでは、吸引等をしない事業所が増えて、せっかくの制度も使えなくなってしまいますね。

みどり：ALS協会でも事業所の障害の撤退を危惧していたみたいです。あと研修参加以外にも、書類のやり取りも追加されますから、事業所側の手間も非常に大きいですね。

司会者：書類ってどのようなものですか？

みどり：まずは研修応募の書類! これは、とにかく量が多いし、事業所以外の人(訪看とか特定の利用者とか先生とか)

の同意も必要なのでとても大変です!! それから、実際に利用者さんに開始するときには、「指示書」をもらいます。指示書は特に決まりがないのですが、3か月ごとに報告書の作成、依頼を行っているんです。

あつこ：そうなんですか、訪看側はそういうやり取りをしている情報も知りませんでした。

司会者：最後に制度の問題点・改善点は何でしょうか？

みどり：リアルタイムに事が進まないよね。

あつこ：年間通じて研修ができるようになったらいいですね。吸引が必要な人が退院する時に研修に行けるようにしてほしいです。

けいこ：東京都も訪問介護事業所も、訪看も病院も制度をきちんと理解できていないところが多いですね。みんなが共通認識出来ていないことが大きな問題。どうにかしないとね……。

司会者：訪問介護事業所の苦しい状況や主治医との指示書のやり取りをしていること等、色々教えていただきありがとうございました。まだまだ課題の多い制度ですが、訪問介護も訪問看護も利用者さんのためにという思いがあって、頑張っていることがわかりました。制度について、みんなが共通認識をもって取り組んでいかなければならないことですので、協力しながらやっていきましょう。

～杉並区別の訪問介護事業所の方が特別出演～

うちは吸引をしている人がいないので
研修に入っていません

特定の人の場合
吸引や胃ろうをしている人がいないと
研修にも出せないのよね。

現実的には吸引の出来るヘルパーを育てたいと思っても
利用者がいないとだめってことになっちゃいますね。

50時間以上も研修に出せないわ
※不特定の人では50時間の研修が必要です。



みどりさんと特別出演の
お二人

みなさんのところには来ましたか？

管理者になって初めて体験する実地指導。我がステーションでは10年ぶりだったそうです。腕抜きしてクロブチ眼鏡ではげ上がったおじさんと、髪を引っ詰めた見た目きつそうな〇〇女子がやってきて、『これもあれもダメダメ』と攻め立てられるのか〜、と胃が痛くなるような日々でした。でも、腕抜きも指サックもしていませんでした。

確認することは、人員配置。我がステーションの勤務表は法人と一緒に、勤務形態一覧の用紙は使用していませんが、再度詳細に勤務時間数を計算していました。カルテのチェックは加算のある人（特別管理加算と緊急時加算、初回加算のある人は要注意）。加算の同意書があるか、記録はあるか、個人情報については家族の同意があるか、がチェックされます。独居はいいけど家族同居は必須。ネグレクトの人で家族からの同意書がないことを指摘されましたが、理由を話したらオッケーでした。家族同意が取れない理由はどっかに書いておいたほうがいいですね。

指示書の日時は必ずチェックされます。指示期間と記入日は要注意！訂正印だらけの指示書を見せて、「お医者さんを何とかして下さいよ！」と言いましたが、「訪問看護師さんた

ちが頑張って先生方が書けるようになってきたと聞いていますよ！」とうまいことかわされてしまいました。事業者体制加算をとっている事業者は、人員、会議資料、健康診断等事業者体制加算に必要な資料の提示も求められます。

印鑑はシャチハタではいけない、保険証のコピーは偽造になる、などなど都市伝説的な実地指導情報が耳に入るのですが、基本は法律にのっていることをすればいいんだ！というのが感想でした。

都庁の人が見ていたのは集団指導の時の資料でした。あれがバイブルなんですね。はげおじさんではなかったけど、やっぱり変な事は見つけれちゃうんです。訪問日時を平成25年10月14日と書いてある記録を見つけ、『未来の事書いちゃいけませんね……』と苦笑！「すみません！24年でした！」と感じました。麻葉犬のような鼻をもっているんだね〜。

やっと終わった実地指導！カルテはきれいに整理できたし、どんなことに気をつければいいのかわかったし、訪問以外の事務作業の仕組み作りをみんなで考えることが出来たし、結果実地指導はいいことなんだ〜と思った一日でした。

(N訪問看護ステーション所長)

東京都による
実地指導を
受けました

介護ASP

介護ASPについて
お問い合わせ



0120-921-797

受付時間
9:00~17:00
(土・日・祝日は除く)

Design Your Smile
健康経営のASPグループ

お試し1ヶ月 **無料体験** 本利用開始月 **無料** 保守費 **無料**

介護・福祉事業者向け
業務管理システム

介護ASP
Application Service Provider

介護サービス事業者様の
事業運営を手厚くサポート！



スズケンと
日立システムズの
連携により、

安心・安全・安価なASPサービスをご提供します。

「介護ASP」で検索をして下さい。

サービス提供 株式会社 スズケン システム開発 株式会社 日立システムズ

介護ASP

検索



株式会社
サカイ・ヘルスケア

私たちの毎日の生活を支え、人を明るく元気にする
福祉用具を提案します。

・福祉用具販売 ・住宅改修 ・福祉用具貸与

定休日 (日曜日・祝日・年末年始)

〈三鷹店〉東京都三鷹市下連雀9-3-15

Tel: 0422-42-6811

Fax: 0422-41-2722

〈昭島店〉東京都昭島市昭和町4-11-20

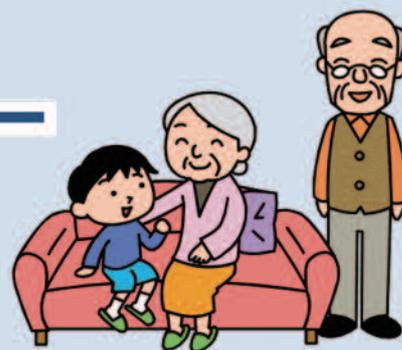
Tel: 042-545-3388

Fax: 042-545-7788

〈入間店〉埼玉県入間市下藤沢737-1

Tel: 04-2965-2010

Fax: 04-2965-2011





皆様はじめまして。今年度から東京訪問看護ステーション協議会の広報委員となりました、えのき訪問看護ステーションの龍原と申します。

どのような形でお役に立てるのかまだわかりませんが、広報委員の皆さんと力を合わせて頑張りたいと思っています。これから、よろしくお願いたします。

(えのき訪問看護ステーション 龍原美賀)

編集後記

訪問看護に奮闘している日々……この先どうなるのか？と、ふとすることがあります。なぜ募集かけても看護師が来ないんだらう？どうしたら良いのかな？など、管理者としての悩みは尽きません。看護師さんに来てほしいというニーズは多いにもかかわらず！です。

でも病院だって看護師が足りない状況は続いているようなので、看護界全体の問題ですね。

とはいっても、簡単に解決できる問題ではないので、取り急ぎ自分ができることをするしかない状況です。私は、いかに働きやすい環境を作るか？ということを思案中。病院とは違って夜勤は無いので、いろいろな工夫ができるかもしれません。

(なごみ訪問看護ステーション 葉山香里)



日本列島緊急事態です！

訪問看護の夏：自転車に乗ってジリジリと焼ける肌。お風呂介助でシャツが絞れるくらい汗びっしょり。帰る車はボンネットで目玉焼きができる。頭はポ〜としてきて思考能力ゼロ！飲んででも飲んで汗と化す水分。みなさん命がけて訪問してますよね〜。

でもどんなにキラキラ太陽にいじめられても訪問看護師はひた走る！それはそこに待っている人がいるから！

訪問看護の冬：東京の冬はスタッドレスタイヤはいらないのかもしれないや・東京の西の方では、年内にはタイヤを履き替えるとか……。雪道慣れていない人は大変。冬も命がけ？

とはいっても精神論だけでは事態は打開しません。運転手付きで訪問しているところもあるらしい。ちなみに私のところでは夏だけフレックスタイムを取り入れてみました。所長さん！みんなで知恵出し合って劣悪な職場環境を何とかしましょう。そして、大好きな看護を思いっきりしましょう。色々なアイデア教えて下さい。



東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

11月30日現在の会員施設数
継続会員:322 新規会員:25 合計:347

【連絡先】〒135-0063 江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
株式会社プロコムインターナショナル TEL 03-5520-8824



「訪問看護ステーション業務ソフト」のことなら **ライフウェア**

Lifeware

煩雑な訪問看護ステーションの業務を **フルサポート!** ライフウェア 検索

診療報酬・介護保険法
改正対応!

高い機能性と
優れた操作性!

安心の
保守サポート!



サテライト事業所対応
iPad・Android 対応

※画像ははめ込み合成です。

〈発売元・お問合せ〉
株式会社 ライフウェア
東京都渋谷区本町 1-4-3 エバーグレイス本町 3F
TEL : 03-3372-9581 FAX : 03-3372-9582



ご存知ですか?
舌でくずせる
本格和洋食。

食べられない人、食べさせたい人の食卓に笑顔を提供します

[摂食回復支援食]



【語源：I eat】「摂食回復支援食」とは、通常の食事をとることが難しい方の、食べる機能と栄養摂取を支援するための食事です。

イーエヌ大塚製薬株式会社

〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5
【お問い合わせ】TEL 03-3515-0170
(受付時間 月～金 9:00～17:00(土日祝日・年末年始・お盆を除く))

あいと
検索
<http://www.ieat.jp/>